

各地の職場から

今回は東京都福生市の横田基地に勤務し活躍されている方々を紹介します。



プロフィール

お名前：高水 邦子
 職場名：第374空輸航空団儀典部
 職種：儀礼専門職



プロフィール

お名前：クヤ・ジョセフ・サンチャゴ
 Joseph Santiago Cuya
 職場名：第374運用支援中隊、RAWSチーム
 職種：レーダー工

コメント

第374空輸航空団儀典部で儀礼専門職として約15年ほど働いています。私の主な仕事はホストである横田基地と来賓が良い関係を築ける様に橋渡しをし、来賓が目的を達成する為の最適な環境を作る事です。

来賓のスケジュールを立ち上げ、滞在中はエスコートします。アジェンダを作ったり、昼食会や夕食会の調整もします。食事会の調整は会場、食物アレルギー、参加人数など難しい事もありますが、上手く行った時はやりがいを感じます。思い出深い仕事の中には、俳優のウィル・スミスさん、ハイデン副大統領、防衛大臣、トランプ大統領の訪問がありました。

また北朝鮮に拘束されていた方々を本土へ輸送する任務にも参加しました。ほとんどの来賓は滞在時間や行事に制限がありますが、日本の文化を少しでも紹介したり、伝統的な茶道をお見せしたりしています。



コメント

私はクヤ・ジョセフです。現在、第374運用支援中隊で地上レーダー技能工として働いています。2009年7月から横田基地にて地上デジタル空港監視レーダー(DASR)、スタンダードターミナル管制情報処理システム(STARS)、および自動航空路情報交換器のシステムなどの設備の整備、保守をしています。横田基地のレーダーシステムは、約2万2千平方キロメートルの覆域を持ち、年間約7万件の航空機の任務に関わる離発着をサポートしています。日々の業務は、横田基地の任務をサポートするため、DASRとSTARSシステムを24時間年中無休でスムーズに稼働するよう維持し、航空機の離着陸の安全を確保することです。主として横田飛行場の航空管制官をサポートしていますが、入間空港基地、厚木海軍飛行場、国防省立川支部、キャンプ座間などもサポートしています。

私は整備、保守の様々な経験を活かし、精力的に仕事に取り組みチームプレーで、新人の隊員がジョブに配属されると、レーダーシステム設備の様々なメンテナンスの方法、安全確保の手順、機械設備の取扱い、技術スキル等を指導し、支援しています。

2016年よりジョブチームは横田基地の領空指揮と統制を拡張するため、日本政府の各関係部署と協力し、羽田国際空港のレーダーフィードを横田基地のレーダーシステムに統合する様に話し合い、プロジェクトを立ち上げました。2018年に、様々な調査や会議を経て、実際のプロセスを開始しました。2019年に設備機器の取付け作業を行ない、2020年に設備の設置とシステムの統合が完了しました。私のキャリアにおいて、最大のプロジェクトのひとつを達成し、太平洋空軍司令部にとっても初めての大きなプロジェクトとなりました。

この様にプロジェクトに参加することは非常に興味深く、様々な機器設置の取付け、技術支援、日本政府との協力と請負業者の支援、およびリーダー達との連絡などを手伝える事が出来て、バイリンガルであること又は技術関連の経験を大いに役立たせることができました。

この仕事を楽しくしており、これからも新しい技術を学び、より知識を深めていきたいです。横田基地の航空管制関連任務のサポートは非常にチャレンジングですが情熱を注いで仕事をしています。